

アップニークミニ点眼液（ミユラー筋作用・眼瞼挙上点眼薬）

2026年5月、「後天性眼瞼下垂」の改善効果がある国内初の点眼薬、アップニークミニ点眼液（一般名：オキシメタゾリン塩酸塩）が発売されました。

眼瞼下垂（がんけん・かすい）は、何らかの原因で片目または両目の上まぶた（上眼瞼）が垂れ下がる状態。「瞼が重くて視野が狭い」「上の方が見えにくい」だけでなく、常に眉を引き上げるため、慢性的な頭痛や肩凝り、眼精疲労などを訴えます。また、「額のシワが深くなる」「老けて見える」「眠そう」など、外見上の問題もあります。生れつき瞼を持ち上げる挙筋が弱い「先天性眼瞼下垂」と、加齢やハード・コンタクトレンズの長期使用により上眼瞼挙筋腱膜が弛緩した「後天性眼瞼下垂（アクワイアード・ブレファロ・プトーシス）」があります。

上眼瞼の挙上には、瞼の裏側にあるメインの上眼瞼挙筋（動眼神経支配）と、サブのミユラー筋（交感神経支配）、瞼の縁にある硬い芯のような瞼板（けんばん）、瞼板と筋を繋ぐ挙筋腱膜（きょきんけんまく）が関与します。上眼瞼挙筋は意識的に動かせる随意筋ですが、平滑筋であるミユラー筋は不随意筋。交感神経支配のアドレナリン受容体は、「 α が収縮、 β が弛緩」に働きます。眼瞼下垂に対し最も確実な治療は、伸びた挙筋腱膜を縫い縮める「外科手術」。しかし、手術には術後の腫れが引き、普段通りの見た目に戻るまでの「ダウンタイム」があります（約2週間）。アップニークは、ミユラー筋に存在する「 α アドレナリン受容体」に作用する交感神経作動薬です。眼瞼下垂の改善効果は、MRD〔マージン・リフレックス・ディスタンス：瞳孔の中心から眼瞼縁（まつ毛の生え際）までの距離〕で評価します（MRD—1は上瞼、MRD—2は下瞼までの距離）。1日1回の点眼で、5～15分後から効果が発現し、MRD—1はベースラインから1mmほど、有意に改善（リフトアップ）し、8時間以上効果が持続しました。

『切らずに、1滴でパッチリ目に』などの宣伝広告で、美容目的で使用される恐れがあり、日本眼科学会は、適正使用を呼びかけています。眼科専門医に受診し、眼瞼下垂の原因として、脳卒中など重大な疾患が隠れていないか。心血管系疾患における血圧や脈拍数の変動、狭隅角患者の急性緑内障発作リスクなどをスクリーニングします。相互作用として、エフェドリンやアジメクトなどモノアミン酸化酵素（MAO）阻害剤との併用で、急激な血圧上昇を招く恐れがあります。米国 RVL ファーマシューティカルズ社（美容医療市場で驚異的な売上を達成後、経営破綻？）からの導入です。参天製薬は、保険適用外（自由診療）で承認という道を選びました。同一成分を含有する薬に、耳鼻科で鼻詰まり、眼科で充血改善に繁用されたナシビン点鼻・点眼薬 0.05%があります（現在は、販売中止）。スイッチ OTC 薬に、点鼻薬のナシビン M スプレー（血管収縮薬）があります。インターネット上では、「点鼻薬で代用」などの誤情報もあるようです。0.1%未満の濃度では薬効が十分でなく、点鼻薬を眼に使用することは危険です。製剤は、保存剤を含まない「1回使い切りタイプ」。開封時の容器破片除去のため、最初の1～2滴は捨てます（計算上、1本6滴入）。薬液が鼻や口などに流れないように、点眼後は1～5分間、瞼を閉じて、涙嚢部（目頭のやや鼻より）を指先で軽く押さええます。自由診療なので、クリニックにより値段は異なると思いますが、参考小売価格は1箱4,890円。なお、一時的な対症療法薬であり、眼瞼下垂を根本的に治す治療薬ではないことに留意します。



瞼を挙げる筋組織

MRD - 1 と眼瞼下垂

商品名	アップニークミニ点眼液 0.1%
一般名	オキシメタゾリン塩酸塩
会社名	参天製薬
適応	後天性眼瞼下垂
用法・用量	通常、成人には、1回1滴、1日1回点眼する
効能・効果に関連する注意	後天性眼瞼下垂の原因が腱膜性以外と考えられる場合（脳卒中、脳動脈瘤、ホルネル症候群、重症筋無力症、皮膚弛緩症等）は、それらの疾患に対する治療を優先すること
重要な基本的注意	散瞳が生じた場合には、その症状が回復するまでは自転車・自動車等の運転、機械類の操作は避けるよう注意すること
特定の背景を有する患者	心血管系疾患のある患者、閉塞隅角緑内障の患者、妊婦、授乳婦小児等
相互作用	【併用注意】モノアミン酸化酵素（MAO）阻害剤、降圧剤、強心配糖体
副作用	眼瞼そう痒感、結膜充血、点状角膜炎、霧視、結膜浮腫、眼瞼湿疹、視力障害、血圧上昇、心拍数減少
薬剤交付時の注意	最初の1～2滴は点眼せずに捨てる。結膜嚢内に点眼し、1～5分間閉瞼して涙嚢部を圧迫させた後、開瞼する。開封後は1回きりの使用とし、残液は廃棄する。遮光して保存するなど
包装	0.3mL×30本 防腐剤を含まない1回使い切りの点眼剤
薬価	保険給付の対象外（薬価基準未収載）

使用に際しては、電子添文と RMP を必ずお読み下さい